



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

日高山脈博物館は「ジオ・ミュージアム」
道内唯一の地質と岩石の登録博物館！

通算 第76号 2022.10.

日高山脈ネイチャーセミナー岩石地質講座をそれぞれ開催しました。

日高やその周辺での地質や岩石の観察、岩石薄片の作成など、さまざまです。

7月31日に「おたから石と岩石図鑑の作り方」、8月6日に「日高のジオサイトへ行こう」、8月28日に「いろんなジオサイトへ行こう」、9月11日に「岩石を顕微鏡で見てみよう」を、それぞれ新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じた上で、開催しました。

「おたから石と岩石図鑑の作り方」では、日高の河川で見られる、おたからとなる珍しい石を探しつつ、岩石を記録として残し、保存する方法の1つである、岩石図鑑の作り方を学びました。「日高のジオサイトへ行こう」では、日高のさんごの沢周辺に見られる、1億年～1600万年前の海の底でできた地層の詳しいでき方や、地層の観察方法を学びました。「いろんなジオサイトへ行こう」では、夕張の滝の上公園に集合し、さんごの沢と同じくおよそ1億年前に海の底でできた地層と、その地層が織り成す険しい地形を観察予定でしたが、公園内にヒグマが出没したため園内立ち入り禁止となっており、スライドや資料にて、それらがどのようにして形成されたかを学びました。「岩石を顕微鏡で見てみよう」では、岩石を0.03mmの薄さにまで研磨した岩石薄片の作成過程の仕上げを体験し、偏光板がセットされている偏光顕微鏡で岩石がどのように観察されるかを学びました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策のため、それぞれ講座は、普段より募集人数を少なく設定していましたが、参加申し込みはいずれも、その募集人数を越えるものでした。地質や岩石の講座を行なうことのできる博物館は、道内でも数少なく貴重であるため、当館や当館の講座などは、北海道新聞（2022.8.25.朝刊・日高版）でも紹介されたように、地質や岩石が好きな方々には人気があるのかもしれませんが、今後も、当館の特徴である地質や岩石の分野を活かした活動をしていきたいと考えています。



「おたから石と岩石図鑑の作り方」



「日高のジオサイトへ行こう」



「いろんなジオサイトへ行こう」



「岩石を顕微鏡で見てみよう」

日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。…⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。